

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	基礎はりきゅう学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	講義室
担当教員	桑原 知子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
(1) 鍼灸施術者としての基本的知識(鍼術・灸術)の理解 (2) 鍼灸施術者としての応用知識(刺激量・適応性・禁忌)の理解						
《成績評価の方法と基準》						
平常評価(確認テスト)30%、期末テスト70%、合計60点を合格点とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
はりきゅう理論、図解鍼灸臨床手技マニュアル、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業が始まるまでに教科書を予習しておくこと。さらに授業後は復習し日々の努力を怠らないこと。基礎鍼灸実技を通じ体を使っての知識・技術両面の理解を深めていくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
基礎鍼灸実技を実践するためにも、この科目の理解が重要です。なぜ鍼灸が効果があるのかを科学的に理解し、疾患や症例に適した治療を的確に選択するためには、鍼灸の基礎知識を十分に理解することが重要です。基礎を繰り返し、知識を定着させていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	先人の築いてきた鍼灸の歴史を理解し説明できる。	プリント、教科書		教科書を読み予習する。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション／第1章 概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼の用語、古代九鍼を理解し説明できる。	プリント、教科書		授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第2章 鍼の基礎知識			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	実技で実践するための方式と術式を復習し実践できる。	プリント、教科書		授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第3章 鍼の方式と術式			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な鍼灸の種類を知り、説明できる。	プリント、教科書		授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第4章 特殊鍼法			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	基礎鍼灸実技で実技を実践するために、これまでの内容を説明できる。	プリント、教科書		授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第1章～第4章の内容を想起する。(確認小テスト)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	お灸の基礎知識を説明できる。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第5章 灸の基礎知識		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	隔物灸、棒灸など様々なお灸を知る。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第6章 灸術の種類		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎鍼灸実技で実技を実践するために、これまでの内容を説明できる。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第1章～第6章の内容を想起する。(確認小テスト)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸の適応症を理解し、職業理解を深め将来の可能性を考え、その考えを述べられる。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第7章 鍼灸の臨床応用		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸の過誤と副作用について説明できる。 安全に気をつけて施術する大切さを知る。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第8章 リスク管理①		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	鍼灸実技を実践するための感染症対策を理解し説明できる。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第8章 リスク管理②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業の範囲を理解し、様々な問題に対応できるようになる①	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第1章～第4章の復習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業の範囲を理解し、様々な問題に対応できるようになる②	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第5章～第6章の復習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業の範囲を理解し、様々な問題に対応できるようになる③	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	第7章～第8章の復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎はりきゅう学の全体の内容を理解し説明できる。	プリント、教科書	授業内容を復習し、基礎鍼灸実技と連動させる。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ		